

教科書編集部便り

来年度から新学習指導要領が実施されます。それに伴い、あるいは、それ以外にも、行政的にさまざまな動きがあります。

▶移行措置

国語科では、これまで第4学年で指導するとされていた「ローマ字」が、第3学年に変更となります。そのため、今年度の第3学年児童に対する移行措置として、教科書にはない「ローマ字」の指導が必要です。弊社では、4月に各学校へ資料をお届けし、かつホームページからもダウンロードしていただけるようにしています。

▶常用漢字表の改定

今年度中には、常用漢字表の改定が行われる予定です。これまでの常用漢字に196字が加わり、5字が削除されて、計2136字となります（文化審議会答申）。ただし、「常用漢字」とは、「法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使

用の目安」として定められるもので、学校教育でどのような扱いをするかは、また別の決まりが必要になります。変更漢字を、どの学校段階で、いつから、どのように扱うのがよいか、現在、文部科学省で審議中です。それまでは、現行の常用漢字（小学校では学習指導要領に示された学年配当漢字）を指導します。

▶評価

学習評価についても改正が行われます。国語に関しては、

- ・国語への関心・意欲・態度
- ・話す・聞く能力
- ・書く能力
- ・読む能力
- ・言語についての知識・理解・技能

の5観点が設定され、従来と変わりません。国立教育政策研究所のホームページなどで、詳しい資料を見ることができます。弊社「年間指導計画資料」も、ぜひご覧ください。

広報部便り

前号からスタートした連載「古典って楽しい！」の取材のため、7月のある猛暑日、イラストレーターといっしょに筑波大学附属小学校へ行きました。教室は蒸し暑く、まるで温室のよう。大人二人、汗をぬぐいながら、枕草子の授業を参観することとなりました。

しかし、子どもたちは元気いっぱい。意欲的に枕草子の翻作に取り組みます。

「夏はかき氷。山のようにキラキラ光るのはいとをかし。」

「夏はお祭り。金魚つりをするのはをかし。冷たいラムネを飲むのもをかし。」

「夏はかき氷。氷をけずる音はいとをかし。食べる前のドキドキ感をかし。」

……など、すばらしい作品を次々と発表してくれました。子どもたちのみずみずしい感性に驚くのと同時に、ふっと涼しさを感じることもできたひとときでした。

次号も、子どもたちが生き生きと取り組む古典の授業をご紹介します。どうぞお楽しみに。